

パーフェクトマッチの09

全40口 ●1口55万円(総額2,200万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



127

127

タニノギムレット × パーフェクトマッチ [社]



タニノギムレット
鹿 1999

牡・栗毛
2009年
2月18日

パーフェクトマッチ
栗 2002

*ブライアンスタイル Brian's Time 黒鹿 1985	Roberto	<i>Hail to Reason</i>
		Bramalea
	Kelley's Day	Graustark
		Golden Trail
タニノクリスタル 栗 1988	*クリスタルハレス	Caro
		Hermieres
	*タニノシーバード	Sea Bird
		Flaxen
*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	<i>Hail to Reason</i>
		Cosmah
	Wishing Well	Understanding
		Mountain Flower
マッチザピース 栗 1995	*ジェイドロバリー	Mr. Prospector
		Number
	マッチポイント	*リアルシャダイ
		マックホープ(B)

ポイント

POINT

高い素質を評価されながら全能力を披露することなく引退した母ですが、その発揮されなかったエネルギーを惜しみなく初仔に託してくれました。放牧地では強靱な筋肉を駆使した俊敏な動きを見せており、中型で好バランスの馬体は見る者を惹きつけて止みません。キリッとした顔が示すように父から悍性の強さを受け継ぎ、レースでの闘争心として活かされるはず。脚元も常時枯れており、クッション性の高い関節は息の長い競走生活を送る上で有利に働くでしょう。父と母父のニックスとっていいほどの好相性を誇る血統背景を武器に、末脚一閃の豪快なレースを見せてくれそうです。

母系

FAMILY

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は米国産、米年度代表馬、米9勝、ケンタッキー ダービー-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS:主な産駒】アドマイヤムーン(ジャパンC-G1)、スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、ヴァーミリアン(ジャパンCダート-G1)、レジネッタ(桜花賞-JPN1)、ローズキングダム(朝日杯フューチャリティS-JPN1)

母 パーフェクトマッチは2~6歳時、18戦2勝、原町特別、コスモス賞-OP2着、ジュニアC-OP2着、紫苑S-OP3着、クイーンC-JPN34着、フローラS-JPN25着。本馬が初仔

祖母 マッチザピースは2勝、南関東②2勝。産駒
マッチレスパロー:4勝、ひいらぎ賞、共同通信杯-JPN33着
キングスビレッジ:1勝、
スマートフォーカス:1勝、

曾祖母 マッチポイントは入着。産駒

トウカイポイント:岩手(公)1勝、最優秀父内国産馬、中央6勝、マイルチャンピオンシップ-JPN1、中山記念-JPN2、オクトーバーS、HTB賞、湾岸S、札幌記念-JPN22着、カブトヤマ記念-JPN32着、札幌日経オープン-OP2着、香港入着、香港マイル-G13着
パーブルエビス:4勝、都大路S-OP、博多S、スプリングS-JPN22着、アーリントンC-JPN32着、オパールS-OP2着、ポートアイランドS-OP3着、ささらぎ賞-JPN34着、京阪杯-JPN35着

四代母 マックホープは5勝、フクニチ新聞杯、浜名湖特別。産駒

マクリス:3勝、稲村ヶ崎特別、あさがお賞。産駒
| マイディアサン:5勝、アレキサンドライトS、シャングリラ賞、
ボーイアンビシャス:3勝、山桜賞
ボンスチャンス:1勝。産駒

インテレット:2勝、アメリカJCC-JPN22着、毎日杯-JPN32着
トランクイリティー:3勝、尾張特別、利尻特別
トランスワープ:3勝、稲村ヶ崎特別、

五代母 ヨドセローナは入着。産駒

リアルバースデー:2勝、新緑賞、ダービー-JPN12着、京都大賞典-JPN22着、アルゼンチン共和国杯-JPN22着、NHK杯-JPN22着、菊花賞-JPN13着、アメリカJCC-JPN23着